鉛筆デッサンをしよう。

日時：平成２１年１月２５日（日）
１３：００～１６：００
対象：高校生

掲載内容

○参加者制作物

○参加者感想

Emotion and Creation



参加者制作物（《アラベラ》の模写）



静物デッサン制作例（松ぼっくり）

制作物	学年	名前	感想文
静物デッサン（石）	2年	横山瑛子	アンドリューワイエスの石の絵は、すごく影が真っ黒に塗ってあって重量感とかもすごく表現してあって、勉強になりました。
	2年	成瀬瑠花	やっぱり、難しかったです。
	1年	大隅香奈	はじめは難しそうで避けた石でしたが、先生のアドバイスをうけ、明暗をはっきりさせることで、石らしさをだすことができました。
	1年	鈴木詩歩	私も自分の感じた美しさを見た人にも感じてもらえるような作品を描きたいです。
	1年	伊藤三千香	今日、気付くことのできたものをしっかりと自分で理解し、それを今後の制作活動にも役立ててゆきたいと考えています。
	1年	津田沙也加	石をデッサンするのは難しいと最初は思っていましたが、描写するうちに石の質感を出すこつが少しわかったと思います。
	1年	山田淑恵	ワイエスの石には深みがあった。何段階にも分けられた明暗の階調によって、石の重量感や感触が想像できてしまう。ワイエスの作品は習作が何枚もあって、彼のこだわりがよくわかる。いらないものを削っていき、魅せたいもの表したいものにしぼっていく。だから彼の絵には深みがあるのだと思う。
静物デッサン（松ぼっくり）	1年	大隅香奈	ワイエスの絵に触れ、自分でどのように表現するかを考えて、松ぼっくりを描きました。影をしっかり黒くすることで、明るいところとの差が出るようにしました。ワイエスは描きたいものをしっかり描いている印象だったので、自分が気になったtころはしっかり描くようにしました。最後に自分とワイエスの絵を比べてみることで、今迄にない経験ができました。
	1年	津田沙也加	ワイエスの絵を鑑賞した後にワイエスがモチーフにした物を描くという初めての経験ができて良かったです。デッサンをする時に先生からたくさんのアドバイスをもらい、そのアドバイスを意識しながら描きました。
	1年	山田淑恵	ワイエスの松ぼっくりはデッサンから細かく描かれていてすごい。おおざっぱな私はワイエスを見習ったほうがいいですね。
	1年	岩本依留羽	ワイエスの松ぼっくりは明暗がはっきりしていて、松ぼっくり自体を主張というか強調していました。絵の中で小さな松ぼっくりは目立たないように思えるけど、しっかりとした存在感がでていて、いいなあーと思った。
	3年	近藤	一つの絵を描くのにも、何枚も描いていたり、ある場所だけをきりっと描いていたりしていて、すごいなと思いました。
	2年	横山瑛子	アンドリューワイエスの絵はすごく黒と白のコントラストがはっきりしている描き方だと思いました。紙の白をそのまま生かして立体感を出す描き方も、すごく綺麗でした。同じもののデッサンをしてみて、すごく勉強になりました。
	2年	成瀬瑠花	楽しかったです。良い勉強になりました。光と影のバランスがとても素敵だとおもいました。
	1年	木村菜生	アンドリューワイエスは、普段は目に付かない素朴なところ、生活の一場面を切り取るように描いていて、自然そのものの特徴をよく捉えていたところが印象的でした。自然の特徴、木のしわや松ぼっくりの影の付け方まで、細部を詳しく描きこんであり、そのものの質感まで感じられる作品がとても多かった。自然そのものの姿が描きたかったのだと思いました。
	1年	鈴木詩歩	日常的で身近なものを題材としたワイエスの絵には、モデルの素朴な魅力が鮮やかに描かれています。松ぼっくりの自由な形や石の寡黙な存在感など、自分の感じた魅力をそのまま絵にすることで、絵を見る人にもその美しさを伝えたかったのかもしれません。風や音など、目に見えないものを描いた絵も、ワイエスがその雰囲気、空気まで表現しようとしたからこそ美しい絵になっているのだと思います。

静物デッサン （松ぼっくり）	1年	伊藤三千香	今回ワイエスのデッサンに挑戦して、いかに必要なとこと、描かなくても伝えることのできる部分があることが良く分かりました。あるポイントさえおさえることができれば、平面に描いたものにも奥行きを感じることができます。私はワイエスのようなデッサンはできないけれど、比べてみることにより、私なりのデッサンの特徴をみつけることができたのだと思います。
静物デッサン （石と松ぼっくり）	2年	山田真結子	石のごつごつした感じや、松ぼっくりの形や陰影など、ワイエスが描くそれらが凄く伝わってくると実感しました。
	3年	田中	自らの心に残る人物や風景を描いたのかなと思いました。
静物デッサン （木）	1年	木村菜生	ワイエスの作品の中に木など自然のものは数多くできていて、そのどれもが木のしわやごつごつ感などの特徴を手触りまでわかるくらい描き込んであったのがすごいと思いました。自然を表現することの難しさが良くわかりました。
	1年	岩本依留羽	ワイエスの絵で私が観た中では、木は主体で描かれていなかった。でも木はあらゆる絵のなにげないところに少しずつでてきていた。脇役だけど、木が無ければつまらなくなると思う。ワイエスの中での木は特別なものだと思った。
模写 （そよ風）	1年	三輪菜月	模写をしてみて、人物だけでなく、光、そよ風も丁寧だったり、荒っぽく描いてるんだと知った。見えないものでも一枚の絵として描きたかったんじゃないかなと思った。デッサンだけでも一枚の絵として見れたし、基にした作品を見ると、すごく細かいところまで描いてあったりした。
	1年	村澤幸	ワイエスの絵は光や風を表現した物がおおく、優しい印象を受けました。デッサンでは風が思い切って描かれている感じがして、人の体と光と風の違いが分かりました。光の方向がすごく分かりやすくて、部屋の空間を表していて、絵の広がりを感じました。
	1年	須田明子	今までここまでデッサンが飾ってある展覧会は見た事がなかったので驚きました。ドライブラッシュの力強い絵と、テンペラの細かくやわらかい絵が同じものを描いているのに印象がとても違って面白かったです。そよ風のデッサンは時間がかかっていないのに光と風が表現できていてすごいと思った。
	3年	清水あや香	ワイエスの一枚一枚の絵画への思いや、その時々の感情が強く伝わってきました。デッサンの描き込みがすごいっ！
模写（アラベラ）	1年	坪井ゆり子	ワイエスの作品を模写して実物との違いを比べてみて鉛筆による習作に対してもワイエスは深い気持ちをこめて描いていることに気がつきました。「アラベラ」の顔の骨の滑らかなラインや、何かを見つめているまっすぐな瞳、出来上がった「アラベラ」にもそれが確かに表れており、ワイエスの対象への感動を感じることができました。
	3年	服部幾一	光をしぼりまくった写真みたいに暗いんですけど、その中に色があって、光があって、すごいんですよ。あと技法が全然違うのに、日本画のような正確さを初めて見たときに感じました。特に雪まじりの何とかってやつ。一番好きなのは、裸の姉さんが窓でたそがれてる絵です。今日はありがとうございました。また見に来ます。
	1年	本山ゆかり	とりあえず、黒の使い方がすごかった。黒は黒でも、人の肌に使われている黒と家の影に使われている黒はぜんぜん違っていて、あんな黒のつかいわけができるようになりたいと思った。肌などに迷い無く黒をおけるのもすてき。黒の色幅は広いの本当に尊敬します。

模写（アラベラ）	2年	田中藍衣	ワイエスの絵は黒と白のメリハリがとても綺麗だったので、そこが表現できたらと思って描きました。模写できる機会があってとてもよかったです。
模写 （雪まじりの風）	1年	天野華恵	なかなかおもしろかったです。一枚描くのに結構追求して描いちゃうところが、あーって思いました。細かいとかそういうのが好きなのでしょうか？人それぞれ好みってありますからねー。まあ、目のためにはなりました。人の顔なんてもうすばらしいですねー。いいんじゃないでしょうか。楽しかったです。
	1年	古田籍鹿	アンドリュー・ワイエスの雪まじりの風の模写をしてみると、みていた時よりかみこみがたくさんしているのを感じました。習作と出来上がりでは、少しずつ変わっていることに気付きました。出来上がりは習作よりもさらに寒いように見えました。生きている鳥がなくなったからだと思います。
	1年	三吉瑠美衣	この企画に参加する前に、ワイエスの展覧会を見た時は、ワイエスがどんなことに感動して、この絵を描いたのかとか、どんなことを表したかったのかなど、あまり考えませんでした。でも、この企画に参加して、習作のデッサンにも作品にもワイエスの感動だとか、いろいろな気持ちが入っているんだなあと感じました。自分が思うに、ワイエスはその場所にしかない季節や風や温度など、その時、その場所でしか感じることのできない何かを表したかったのではないかと思いました。
	2年	守本奈央	ワイエスの絵は、何が描きたかったかとか、どこが描きたかったのかが、すごく分かりやすくて、ワイエスの伝えたかったことがストレートに画面に出ているなーと思った。
	1年	寺島佑紀	冬の肌をさす様な寒さを、ワイエスのデッサンから感じ取れました。それから大地の固さも。ワイエスのデッサンは黒が物凄く黒いので、それを表現するのが難しかったです。あと、個人的には水彩の作品がすごく好きです。
	1年	鷲津百華	風が線に表れていたので、そこは出そうと思いました。おおざっぱな線と、きちんと形をとっている部分があって、裸になった木や、氷っている地面が、冬の感じがすごく伝わってきた。
模写 （クリスティーナの世界）	2年	片野友里	ワイエスは見たものを自分の中で消化して描いてるんだなあと思いました。そこに確かにあるハズなのに、忠実でない点が素敵だなと思いました。真似できないすごさを感じることができて、よかったと思います。
	3年	北川裕紀乃	ワイエスのデッサンはおおざっぱに形をとっているけど正確で、細い所の描きこみが本当にすごい！よく物を見ているなと思った。自分もデッサンを明暗で描けるようになりたい。
	1年	清岡沙帆	ワイエスの描写はすごく自分が主張したいところが分かるなあと思いました。描きたいところがすごく細かく描きこんであって、もっといろんなデッサンを観たいなあと思いました。
	2年	石原千愛	Y，Sの見ている世界は、日常の何気ない風景を切り取って描かれていて、日頃使っている物がとても存在のある物のように感じました。クリスティーナは彼女の強い意志が何枚ものデッサンから伝わってくるようで、すごいなあとひたすら見入っていました。
	3年	杉浦那菜子	アンドリューワイエスを知ったきっかけは、この「クリスティーナの世界」でした。初めて見た時、この絵が何を表しているのか知らないながらも、何故か惹かれてしまいました。今日その習作を含め、いろんな作品の習作を見て、完成した作品にはない思いを感じ、そのことを考えると胸がいっぱいになりました。何気ない人間の力強さに沢山の物語を感じました。
	1年	横山千夏	ワイエスの絵は、最初の鉛筆でかいたのと、色ぬったのが全然違ってさみしそうだったのが明るくなったりしてた。感情のはいりが多いのかなと思った。女の人の後ろすがたは、普通な感じがするけど、背景がモスグリーンみたいですごく地味だから、さみしそうにみえた。